

賀寿期五歳層 「長命期」(大正生まれ)

他界した大正人

2012年(平成24年)2月4日／芦野宏 1924／大正13年6・18

2012年(平成24年)2月16日／淡島千景 1924／大正13年2・24

2012年(平成24年)3月16日／吉本隆明 1924／大正13年11・25

2012年(平成24年)10月13日／丸谷才一 1925／大正14年8・27

2012年(平成24年)11月10日／森光子 1920／大正9年5・9

2012年(平成24年)12月28日／岡本敦郎 1924／大正13年12・25

2013年(平成25年)1月26日／安岡章太郎 1920／大正9年5・30

2013年(平成25年)1月30日／加藤 寛 1926／大正15年4・3

2013年(平成25年)4月12日／大友工 1925／大正14年2・19

2013年(平成25年)4月14日／三國連太郎 1923／大正12年1・20

2013年(平成25年)4月25日／田端義夫 1919／大正8年 1・1

2013年(平成25年)5月23日 茂山千作(4世) 1919／大正8年12・28

2013年(平成25年)7月30日／竹内実 1923／大正12年6・12

2013年(平成25年)8月22日／藤沢嵐子 1925／大正14年7・21

2013年(平成25年)9月29日／山崎豊子 1924／大正13年11・3

2013年(平成25年)10月28日／川上哲治 1920／大正9年3・23

米寿期(85歳～89歳) 人名録 昭和3年～大正13年

わが国の平均寿命が、女性86歳、男性79歳であることからすると、88歳の「米寿」あたりからがやっと長命を祝える年齢に達したということになります。ことしは昭和88年ですから数えですと昭和元年生まれの人が「米寿」ということになります。落語家の桂米丸さんも桂米朝さんも大正14(1925)年の生まれ。昨年、数えの88歳で「米寿」の祝いをすませています。

ここでは満年齢での5歳層「米寿期」ですから、85歳・昭和3(1928)年～89歳・大正13(1924)年生まれの方々が仲間ということになります。

昭和は大正15年12月25日の改元でしたから昭和元年は実感の乏しい年号です。昭和人名録をみていただくとおわかりのように、1926年生まれの方には、森英恵、石井ふく子、河野多恵子、中根千枝、三浦朱門、安野光雅氏。学者も多く多湖輝、小柴昌俊、大塚初重といった各氏が各界で活躍しています。この方々を先頭にして、昭和生まれの人人びとのもつ巨大な知性の幅と厚みと密度に、改めて敬意を表したいと思います。

卒寿期(90歳～94歳) 大正12年～大正8年

心の奥に、心のふるさととして共有している童謡・唱歌も歌われて百歳になります。大正8年にはあわて床屋、浜千鳥、金魚のひるね、靴が鳴る 大正9年には十五夜お月さん、お山の大将、叱られて 大正10年には青い目の人形、赤い靴、七つの子、赤とんぼ 大正11年にはシャボン玉、春の歌、砂山 大正12年には肩たたき、背くらべ、おもちゃのマーチなど。大正生まれのみなさんは母さんの歌うこんなやさしい童謡をたくさん聞きながら育ったのです。もちろん男の子も。その後、軍歌の時代がやってきますが。

大正12年9月1日11時58分、関東大震災（M7.9）が襲いました。大正初年生まれの人びとは大震災・戦災の記憶を留めています。

白寿期（95歳～99歳） 大正7年～大正3年

もうあと一年で百歳の年が「白寿」です。「白寿」をふくむ5歳層95歳～99歳がここでの「白寿期」です。百歳の目標が一年一年、ひと月ひと月と近づいてきます。いろいろな医療施設や福祉施設が「白寿」を称しているのは、百歳をめざしてがんばりましょうという願いを込めているからでしょう。

蟹江ぎんさん（2001年・108歳で）の娘さん4姉妹の長女年子さんが98歳、千多代さんが94歳、百合子さんが91歳、美根代さんが89歳。みんなお元気で「食べる、しゃべる、自分でする」のが健康で暮らす秘訣とか。

百寿期（100歳以上） 大正2年以前

個人的にはおとし「百寿期」に達した聖路加病院の日野原重明名誉院長（1911年10月4日生まれ）が知られます。昨年は映画監督の新藤兼人さんが到達してすぐ亡くなりました。日本一（世界一）の長寿者は男性の木村次郎右衛門さん（1897年4月19日）でしたが、6月12日に亡くなりました。郵便局づとめ、農業とからだ全体を用いるしごとをつづけていたことが、長寿につながったようです。これで世界最長寿者はまた日本女性の大川ミサヲさん、1898年・明治31年3月5日、115歳になりました。

百寿期にある人の数は5万人に達しました。これはもう都市レベルのコミュニティ「百歳社会」の誕生といえるでしょう。「百歳社会の初代」を掲げている樋口恵子さんは昭和生まれの80歳。女性が先行しているのは確かなようです。

賀寿期五歳層のステージ

2013年では、

百寿期（100歳以上）	大正2年以前
白寿期（95歳～99歳）	大正7年～大正3年
傘寿期（90歳～94歳）	大正12年～大正8年
米寿期（85歳～89歳）	昭和3年～大正13年
傘寿期（80歳～84歳）	昭和8年～昭和4年

喜寿期（75歳～79歳） 昭和13年～昭和9年
 古希期（70歳～74歳） 昭和18年～昭和14年
 還暦期（60歳～69歳） 昭和28年～昭和19年

<注>平成25年は大正102年、昭和88年に当たります。

三世代年表 生年別の人口（男・女）、流行語、流行歌

◇これより「長命期」（八五歳～）

◇「長命期（米寿期）」（八五～八九歳） 人口は二〇一〇年一〇月一日。「国勢調査」総務省統計局

生年	干支	年齢	人口（男・女）万人	流行語・流行歌
一九二八	昭和 三 戊辰	八五	33・9	53・0 狭いながらも楽しい我が家。「波浮の港」「君恋し」
一九二七	昭和 二 丁卯	八六	30・4	49・8 何が彼女をさうさせたか。「ちゃつきり節」
一九二六	昭和 一 丙寅	八七	27・1	47・3 文化住宅。モガ・モボ。「ヨサホイ節」「この道」
一九二五	大正一四 乙丑	八八	22・4	42・5 軍教。ラジオ放送。円タク。「あの町この町」
一九二四	大正一三 甲子	八九	17・8	37・0 憲政の常道。メートルデー。「からたちの花」

◇「長命期（卒寿期）」（九〇～九四歳） 人口は二〇一〇年一〇月一日。「国勢調査」総務省統計局

生年	干支	年齢	人口（男・女）万人	流行語・流行歌
一九二三	大正一二 癸亥	九〇	13・8	33・5 大震災。流言蜚語。「船頭小唄」「復興節」
一九二二	大正一一 壬戌	九一	11・3	29・9 恋愛の自由。民衆芸術。赤化。「馬賊の唄」「砂山」
一九二一	大正一〇 辛酉	九二	9・2	26・0 悪家主。プロレタリア。「七つの子」「赤とんぼ」
一九二〇	大正 九 庚申	九三	8・0	23・7 国調。示威運動。「聞け万国の労働者」「叱られて」
一九一九	大正 八 己未	九四	5・4	16・6 デモクラシー。サボ。「背くらべ」「靴が鳴る」

◇「長命期（白寿期）」（九五～九九歳） 人口は二〇一〇年一〇月一日。「国勢調査」総務省統計局

生年	干支	年齢	人口（男・女）万人	流行語・流行歌
一九一八	大正 七 戊午	九五	4・5	14・8 平民宰相。米騒動。赤い鳥。「浜辺の歌」「宵待草」
一九一七	大正 六 丁巳	九六	3・6	12・4 きょうは帝劇、あすは三越。「さすらひの唄」
一九一六	大正 五 丙辰	九七	2・8	10・4 民本主義。是々非々。「サンタルチア」
一九一五	大正 四 乙卯	九八	2・0	7・8 御大典。ナッチョラン。「恋はやさし」「乾杯の唄」
一九一四	大正 三 甲寅	九九	1・5	6・2 大正琴。「カチューシャの歌」「朧月夜」

◇これより「百寿期」（100歳～） 人口は二〇一〇年一〇月一日。「国勢調査」総務省統計局

生年	干支	年齢	人口（男・女）万人	流行語・流行歌
一九一三	大正 二 癸丑	一〇〇	1・0	4・6 薩関。新しい女。「鯉のぼり」「海」「早春譜」
一九一二	大正 一 壬子	一〇一	0・7	3・3 大正維新。閥族打倒。「都ぞ弥生」「春の小川」

改元 明治 45=大正元 1912. 7. 30 大正 15=昭和元 1926. 12. 25 昭和 64=平成元 1989. 1. 8

大正シニア人名録

ご自分と「賀寿期」をともに生きる「知名人」の方の小録としてご参考までに。

ご紹介できるのは少数ですが、これだけの優れた人びとが、長年かけてつちかった知識・技能・経験そして築き上げた人格を保って活躍している姿がいつも見えているような社会が、「本格的な日本高齢社会」です。物故者も最近の人やまだ心の中に生きつづけている（話題になる）人は残してあります。

大正人の名簿

百寿期（100歳以上）	大正2年以前
白寿期（95歳～99歳）	大正7年～大正3年
卒寿期（90歳～94歳）	大正12年～大正8年
米寿期（87歳～89歳）	大正15年～大正13年

1915／大正4年 1・2／むのたけじ

1917／大正6年 1・11／日高六郎、1・12／秋山ちえ子

1918／大正7年 5・27／中曽根康弘

1919／大正8年 1・1／田端義夫 12・28／茂山千作（4世）

1920／大正9年

2・12／山口淑子、3・23／川上哲治、5・9／森光子、5・30／安岡章太郎、
12・24／阿川弘之

1922／大正11年

5・15／瀬戸内寂聴、6・18／D・キーン、9・12内海桂子

1923／大正12年

1・10／松山樹子、1・20／三國連太郎、4・19／千宗室、5・24／鈴木清順、
6・12／竹内実、9・30／下河辺淳、11・5／佐藤愛子

1924／大正13年

1・2／河合雅雄、1・15／倉嶋厚、1・15／後藤次男、1・16／京極純一、2・
8／久米明、2・18／陳舜臣、2・24／淡島千景、3・3／村山富市、3・25／京
マチ子、4・5／金森久雄、4・30／伊藤雅俊、5・11／田中光常、6・25／丹阿
彌谷津子、6・18／芦野宏、11・3／山崎豊子、11・14／鈴木登紀子、11・2
5／吉本隆明 12・25／岡本敦郎

1925／大正14年

1・22／清水司、1・23／木下東一郎、2・19／大友工、2・27／豊田章一郎、
3・12／江崎玲於奈、3・15／原寿雄、3・17／小尾信弥、3・20／梅原猛、3・
31／永井路子、4・6／桂米丸、4・25／富永一朗、4・27／木村明生、5・10

／橋田壽賀子、6・12／大田昌秀、6・26／杉本苑子、6・28／大関早苗、7・
21／藤沢嵐子、7・23／色川大吉、8・21／篠原一、8・27丸谷才一、9・17
／杉下茂、9・19／岡田卓也、9・19／大城立裕、10・13／森本哲郎、10・2
0／野中広務、11・6／桂米朝

1926／大正15年（～12月25日・昭和元年）

1・8／森英恵、1・12／三浦朱門、2・15／松谷みよ子、2・25／多湖輝、3・
15／辻久子、3・20／安野光雅、4・3／加藤寛、4・17／小川宏、4・30／河
野多恵子、5・30／渡辺恒雄、9・1／石井ふく子、9・19／小柴昌俊、11・22
／大塚初重、11・9／鈴木孝夫、11・30／中根千枝